



CONCEPT

近年では相続税の法律改正などもあり、「二世帯住宅」が注目されつつあります。

二世帯住宅の中でも共有タイプが人気ですが、世帯ごとの生活時間のずれ違いがあるために上手く共有することが難しく、工夫が必要となっています。

そこで私たちは、母親と祖母との仲が良く、キッチンのみを共有する二世帯住宅を提案します。

キッチンのみを共有することにより、「適度な世帯間の距離感」と「料理による世帯間の交流」を大切にしていきます。

我が家の味をつなげていく、それが「キッチンで繋がる二世帯住宅」です。



親世帯住居 1F南側

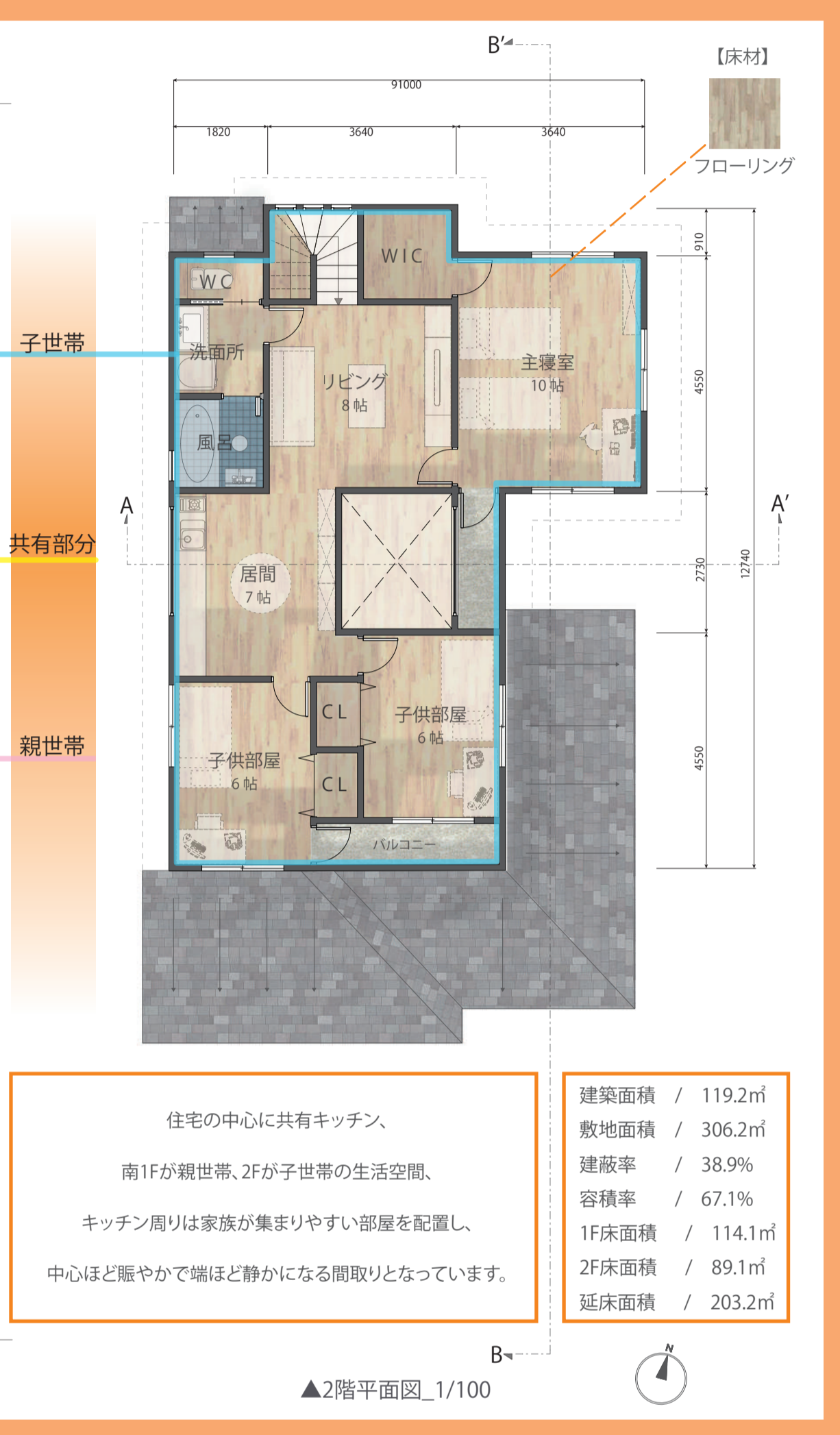
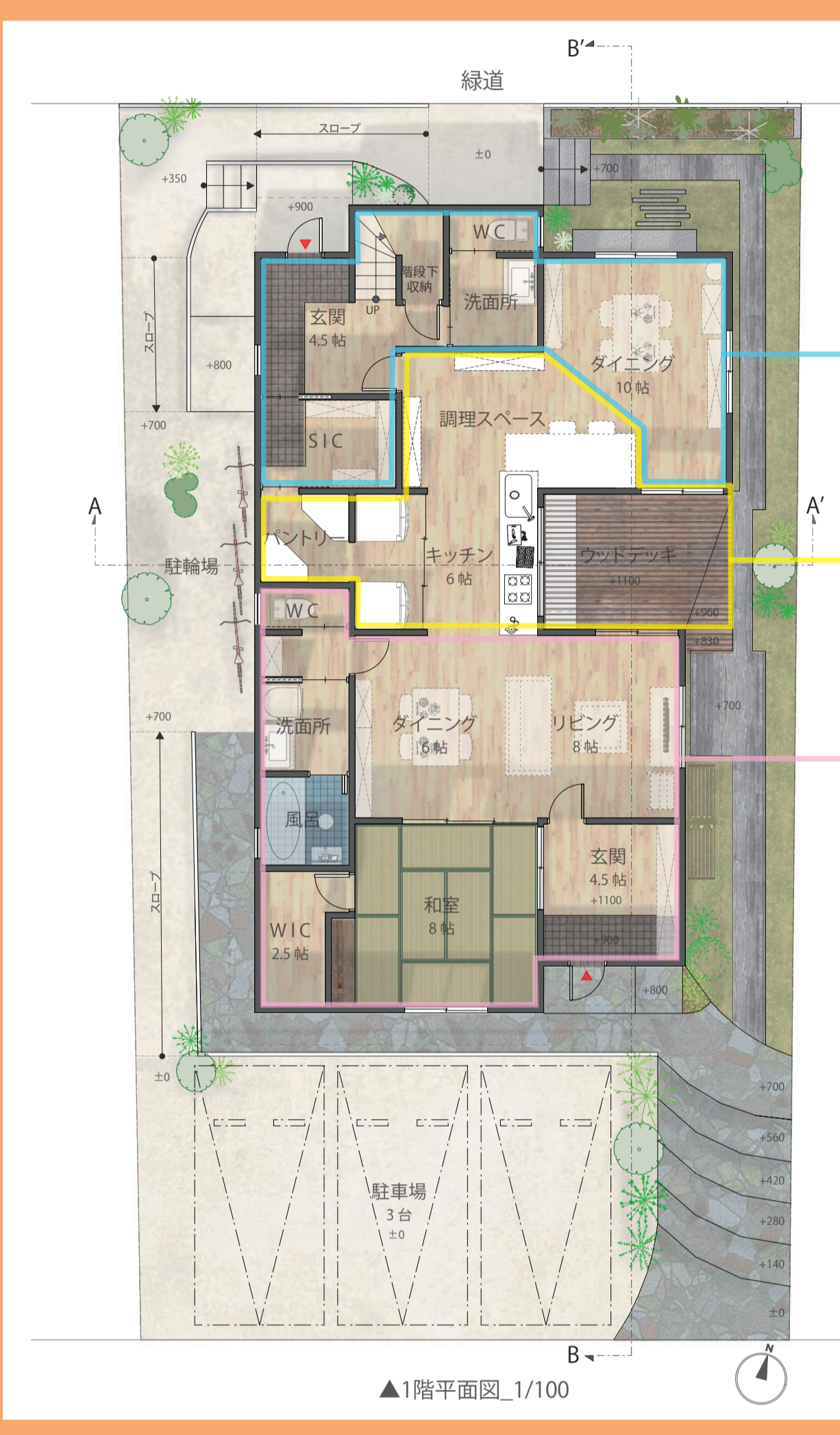
子世帯住居 1F北側、2F全体

共有キッチン

キッチンのみを共有部分とし、玄関・浴室・トイレなどは別々となっています。

家族構成は母親の両親と暮らす、親世帯夫婦と子世帯家族を想定しています。

共有キッチンに家族が集うことによって、3世代の料理による交流を生み出します。



【共有キッチンの特徴】

冷蔵庫は各世帯で分けるために2台設置することができます。

パントリーからキッチンの動線により、スムーズに料理を行うことができます。

キッチン横の調理棚・調理スペースにより、大人数による料理も行えます。

▲南側通路 ▲緑道(北)側の玄関 ▲共有ウッドデッキ

▲2階 居間



▲南側立面図_1/100

▲東側立面図_1/100

【屋根材】スレート葺き

【外壁材】白塗り壁 左官仕上げ

【外壁材・軒天】木の素材

【外壁材】レンガ風タイル

【外壁材】黒の細割タイル

▲A-A'断面図_1/100

▲B-B'断面図_1/100

子世帯にはちょっとしたミニキッチンがあります

調理の音や料理の香りが2階の子世帯空間へと伝わり、食事の時間が把握しやすくなります

広い玄関で来客の対応が可能です

共有キッチンから共有ウッドデッキの様子を見ることができます

プライベートな子世帯の主寝室は2階です

共有キッチンは吹き抜けにより、開放感のある空間となっています

広すぎないウッドデッキは、各世帯の共有の憩いの場となります

ご近所さんとの話が弾むようであればリビングで対応し、キッチンからすぐにお茶を出すことができます

共有ウッドデッキはバーベキューなどの様々な使い方ができます

北側の緑道に面しているため、庭を設えることによって距離感を生み、緑道側に対する圧迫感を緩和します

